

# ゴケグモ類に関する市民向けQ&A（第2版）

R3.6.4 改訂版

## 特 徴

Q1. ゴケグモ類の特徴は？

A1. ゴケグモ類は、腹側に赤い砂時計型または四角形の特徴的な模様があります。

Q2. セアカゴケグモの特徴は？

A2. 毒を持つメスの体長（胴体）は約1cm（手足を含めると3～4cm）、全体的に黒く、腹側の赤い模様に加えて、背中にも縦の赤い帯状の模様があります。

Q3. ハイイロゴケグモの特徴は？

A3. 毒を持つメスの体長（胴体）は約1cm（手足を含めると3～4cm）、背中は灰色及び黒色の模様で斑紋があります。腹側に赤い模様があります。

Q4. ゴケグモ類の巣の特徴は？

A4. 地面に近い場所にあるすき間や構造物の隅に不規則な巣を作ります。冬場は落葉や枯れ草、昆虫の死骸等をからめていることが多いようです。

## 生息場所

Q1. ゴケグモ類はどんなところにいるの？

- A1. ①屋外の比較的日当たりが良く、暖かいところ  
②エサとなる昆虫や小動物が豊富にあるところ  
③巣を張る適当なすき間があり、物陰になる狭いところ

①～③の条件がそろった場所にある側溝や自転車の泥よけカバーやサドルの内側、ベンチの下、すべり台の下、公園の花壇やブロック、植木鉢やプランターの裏や窪み、屋外にずっと置いてある履物の中等に生息します。

## 見つけた時の対処法

Q1. ゴケグモ類を見つけた時はどのしたらよいの？

A1. ゴケグモ類を見つけた時は、慌てず、冷静に対応し、咬まれないよう自己防衛に努めてください。

見つけても絶対に素手で触らないようにしてください。ゴケグモ類は動いていなくても、死んだふりをしていることがありますので、気をつけてください。

家庭用スプレー殺虫剤で駆除することができます。殺虫剤がなければ、足で踏みつぶしても構いません。

駆除したクモを処理するときも、素手ではなく、手袋を着用するか割り箸や庭ほうき等を使ってください。

背中やお腹に特徴的な赤い模様を見つけたら、念のためお住まいの区の区役所生活環境課に連絡してください。

Q2. ゴケグモ類の駆除方法は？

A2. 家庭用スプレー殺虫剤を吹きかけるか、足で踏みつぶしてください。

Q3. ゴケグモ類の卵のうの駆除方法は？

A3. 卵のうを割り箸等ではさんでビニール袋に入れて、足で踏みつぶすか、卵のうを直接着火ライター等で焼却してください。

Q4. クモを見つけたら、どんなクモでも駆除した方がよいのか？

A4. ほとんどのクモ類は害虫を捕食する益虫であり、有害なゴケグモ類以外は特別な理由が無い限り、むやみに駆除しないようにしてください。

## 日頃から気をつけること

Q1. ゴケグモ類に対して日頃からどんなことに気をつけたらよいの？

A1. ガーデニングなどの屋外で作業する時は、厚手の手袋（軍手や皮手袋等）や靴下を着用してください。

屋外に出っぱなしにしている履物を履く時は、中にクモが入っていないか確認してください。

## 咬まれた時の対処法

Q1. ゴケグモに咬まれた場合はどうしたらよいのか？

A1. 咬まれた部分を温水や石けん水でよく洗い流し、できるだけ早く病院で医師の診察を受けてください。

治療を受ける際には、クモを殺虫スプレーで殺して持参すると適切な治療につながります。

Q2. 何に咬まれたか分からない場合はどうしたらよいのか？

A2. 念のため、咬まれた部分を温水や石けん水でよく洗い流してください。清潔を保つとともに毒を洗い流すことができます。痛みなどの症状が無ければ、ゴケグモ類に咬まれたのではない可能性が高いと思われませんが、様子を見て、症状が出たら病院で医師の診察を受けてください。

Q3. 咬まれた時の症状は？

A3. 個人差がありますが、一般的には、咬まれた直後、針で刺されたような痛みがあり、咬まれた場所が熱く感じられ、赤く腫れ、局部的に汗が出ます。

咬まれて 5 分ほどで強い局所の痛みが始まり、その強さと範囲が増大し全身に広がっていくといわれています。

時間とともに痛みが咬まれた四肢全体に広がり、リンパ節の腫れや痛みが出ます。

さらに、腹痛を起こし、人によっては、嘔気、嘔吐、発熱、異常発汗、倦怠、めまい、頭痛、全身の発疹、高血圧、下痢、喀血、呼吸困難、排尿困難、重度の開口障害、食欲不振、眼瞼浮腫（まぶたの腫れ）、全身の関節痛、全身の震え、流涙（涙が流れる）、精神異常、徐脈（心拍数が遅くなる不整脈）や頻脈（心拍数が早くなる不整脈）などがあると言われています。重い症状が出た時は、119 番通報して救急車を呼んでください。

Q4. 咬まれた場合は、死亡するのか？

A4. 国内ではこれまでのところ、死亡例はありません。

大多数のセアカゴケグモ咬傷患者に対して抗毒素血清が使用されるオーストラリアでも 1956 年に抗毒素血清が導入されてから死亡者は出ていません。

## クモの広報・啓発・相談に関すること

Q1. ゴケグモ類は、どこで発見されているのか？

A1. 福岡市のホームページ「セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意  
ください！」 [福岡市 ゴケグモ](#) 検索

HOME > 暮らし・手続き・環境 > 衛生・動物愛護 >  
セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意ください！  
に、ゴケグモ類発見状況マップをご覧ください。昨年と今年の小学校区  
毎の発見状況を掲載しています。

Q2. ゴケグモ類は、どのくらい発見・駆除されているのか？

A2. 福岡市のホームページ「セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意  
ください！」 [福岡市 ゴケグモ](#) 検索

HOME > 暮らし・手続き・環境 > 衛生・動物愛護 >  
セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意ください！  
に、これまでの駆除状況を集計し公表しています。

Q3. ゴケグモ類に関する相談はどこにすればよいのか？

A3. 駆除等についてのご相談は、最寄りの区役所生活環境課まで

東区生活環境課	〔電話〕 092-645-1024 〔FAX〕 092-632-8999
博多区生活環境課	〔電話〕 092-419-1070 〔FAX〕 092-441-5603
中央区生活環境課	〔電話〕 092-718-1092 〔FAX〕 092-718-1079
南区生活環境課	〔電話〕 092-559-5101 〔FAX〕 092-561-5360
城南区生活環境課	〔電話〕 092-833-4087 〔FAX〕 092-822-4095
早良区生活環境課	〔電話〕 092-833-4343 〔FAX〕 092-841-6687
西区生活環境課	〔電話〕 092-895-7054 〔FAX〕 092-882-2137